

## 事前評価調書

I 事業概要																																																																		
事業名	砂防等事業（緊急防災対策砂防事業）																																																																	
地区名	だいまんほら 大門洞																																																																	
事業箇所	いぬやましおおあざだいまん 犬山市大字大門地内																																																																	
事業のあらまし	<p>大門洞は犬山市大字大門に位置し、保全対象として人家4戸、市町村道を抱える土石流危険溪流である。</p> <p>土石流による土砂災害から人命財産及び公共設備を守るため、砂防堰堤を整備し、土砂災害対策を推進する。</p>																																																																	
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人家4戸、市町村道を土砂災害から保全する。</li> </ul> <p>【副次目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>																																																																	
事業費	事業費		内訳																																																															
	3.0億円		□工事費1.8億円、□用補費0.4億円、□その他0.8億円																																																															
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2022年度	完成予定年度	2026年度																																																												
事業内容	砂防堰堤工 1基、溪流保全工 100m																																																																	
II 評価																																																																		
①事業の必要性	1) 必要性	流域は荒廃が著しく、不安定土砂が多く堆積しており、豪雨等が発生した際は甚大な被害が発生する恐れがあるため、土石流対策を行い、保全対象を守る必要がある。 費用便益分析マニュアル(砂防事業)に基づき算定したB/Cは1.30で1.0を越えている。																																																																
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																																																															
		【理由】土石流から保全対象を守る必要があるため。																																																																
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1号砂防堰堤</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溪流保全工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">2.4</td> <td colspan="2">0.6</td> <td colspan="2">3.0</td> </tr> </tbody> </table>								2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種 区分	調査・設計	←→							用地補償		←→						工事								1号砂防堰堤			←→	→				溪流保全工					←→	→		事業費（億円）		2.4			0.6		3.0	
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																									
工種 区分	調査・設計	←→																																																																
	用地補償		←→																																																															
	工事																																																																	
	1号砂防堰堤			←→	→																																																													
	溪流保全工					←→	→																																																											
事業費（億円）		2.4			0.6		3.0																																																											
2) 地元の合意形成	過年度土砂災害防止法に基づく地元説明会を実施した際、土石流対策の要望の声が高まっているため、合意形成は図られていると判断する。																																																																	
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																																
		【理由】円滑な事業環境は整っており、計画の実効性が確保されている。																																																																

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。</p>	